

戦後 80 年 戦争の事実を語り継ぐ舞台公演

# 出演者募集

同じ空を見てますように  
—穴澤利夫大尉と智恵子さんの物語— (仮題)

あなたのマフラーになりたい

1945 年 4 月 12 日。

知覧飛行場から、次々と出撃していく特攻機の中に、穴澤利夫さんの飛行機もありました。操縦席の穴澤さんの首もとには、恋人のマフラーがありました。

穴澤利夫さんは中央大学に在学中、アルバイト先の図書館で、司書を志す智恵子さんと出会いました。穴澤さんが智恵子さんに思いを寄せ、智恵子さんが戸惑いながらもその思いを受け入れ、決して自由な恋愛がままならなかった時代に、二人は心を通わせはじめました。

穴澤利夫さんが、中央大学を繰り上げ卒業して陸軍のパイロットになったことで、二人は遠距離恋愛の状態になり、手紙のやり取りで思いを繋げることとなります。智恵子さんは、「あなたといつも一緒にあるあのマフラーになりたい」と記した手紙を送りました。穴澤さんは、長距離を面会に来た智恵子さんが巻いていた白いマフラーをもらって、訓練中も身につけるようになります。

「あなたの唯一身につけていたもの。仲間から冷やかされてもどこ吹く風」と手紙に記しました。

80 年前。

平凡な幸せを夢見ていただけでした。

一緒に好きな本を読みながら歳を重ねていこう・・・と。

激しくうねりながら流れる時間の中で、二人は何を語り合い、そして何を語らずに飲み込んだのか。

知覧特攻平和会館に収蔵された、二人の学生時代からの手紙と日記、智恵子さんへの 4 時間以上に及ぶインタビュー記録を資料に、80 年前にあった恋愛のかたちを、舞台に描きたいと思います。

## 出演者を募集しています。

- ①穴澤利夫さんと智恵子さんを演じる役者を探しています。演者の年齢は問いません。
- ②特攻隊員の身の回りのお世話をした女学生（当時 15 歳）の姿を描きたいと思います。演者自身の年齢は問いません。
- ③企画に賛同し他の役でも参加をご希望の方はご連絡ください。
- ④演劇の経験は問いません。
- ⑤稽古の日程や方法は、演じてくださる方の住所や諸事情を勘案し決めたいと思います。
- ⑥些少の謝金のほかは、出演料などはお支払いできません。
- ⑦①②ともに、ご応募者との面談のうえで出演のお願いをさせていただきます。

演出の方針

衣装や舞台美術など、当時の状況を具体的に再現する手法は取りません。簡素で概念的な空間を、演技、照明、映像、音楽などにより多様な時間と場所に見せる演出を目指します。

公演日と場所

**2025年8月9・10日**  
**知覧文化会館**

スケジュール

3月	4月	7月下旬	8月8日(夜)
全体会	稽古期間	通し稽古	ゲネプロ

まずはご応募を

URL : <https://ibuki.fun>

企画や役にご関心があれば、まずはご応募をお願いします。



応募フォーム

E-mail : [gekidan@ibuki.fun](mailto:gekidan@ibuki.fun)